

地球温暖化対策計画実施状況報告書(最終報告)の概要(公表用)

1 事業者の概要

法人名 代表者名	株式会社T・S 代表取締役 蔦 良仁	市内の 主たる住所	相模原市中央区田名塩田1-15-7
主たる事業 の内容	非鉄金属素材を使用した旋盤加工		

2 計画期間

令和 5 年度 ~ 令和 7 年度

3 計画年度における温室効果ガスの排出の状況

基準年度 排出量	1057.0 t-CO ₂	計画最終年度 排出量	775.0 t-CO ₂
計画最終年度 排出削減量	282.0 t-CO ₂	計画最終年度 排出削減率	26.7 %
(原単位を設定した場合)計画最終年度の原単位排出量削減率			%

4 計画年度における温室効果ガスの排出の状況に関する説明

年度に対して計画1年目・計画2年目・計画3年目と段階的にCO ₂ 削減結果だが、その要因として①基準年度に対して各計画年度の設備稼働率は75%程度であった事。②令和5年度(令和6年2月)からの太陽光発電設備の稼働開始、・令和5年度:14千KWh・令和6年度:128KWh・令和7年度:134KWhの発電実績にて削減寄与あり。となっている。また、令和6年度より当社3拠点のうちの2拠点について購入電力をCO ₂ フリー電源契約を行い、・令和6年度:387KWh・令和7年度:399KWhの購入実績、上記「二酸化炭素排出量」から368tCO ₂ 分を削減出来た解釈となる。 令和6年度及び令和7年度について、昨今に於ける夏季の猛暑対策として大型スポットクーラーを設置、従来の生産活動以外の消費電力が2年間でおよそ20千KWh程度・約9tCO ₂ 分の増加見込みとなる。

5 温室効果ガスの排出の抑制等を図るために実施した措置の内容【計画書記載事項】

対象年度	措置の内容	実施状況
令和5年度	太陽光発電設備の導入	実施済
令和6年度～ 令和7年度	エアコン設定温度の緩和	実施済
令和7年度	照明を高効率照明へ更新	実施なし

6 計画内容の進捗状況に関する説明

①太陽光発電設備の稼働において、年間計画見込み149KWhに対して131KWh、CO ₂ 削減量計画69.7tCO ₂ に対して61.0tCO ₂ の結果となった。 ②空調設定温度の緩和については、年々厳しな猛暑への労働環境対策により、空調設備を増設・使用電力量20千KWh程度・約9tCO ₂ 分の増加。 ③照明を高効率照明へ更新について、製造現場環境の詳細調査から最新見積にて防爆仕様での照明設備更新が必要になる事が判明、予算が当初の3倍以上となった事、及び一部生産設備が令和5年度から不具合多発となった事により、予算を高効率省エネ生産設備の更新に振替える事となった。
--

7 その他、計画期間に実施した地球温暖化対策の推進に寄与する取組等

①夢の丘小学校からの依頼により毎年職業体験授業の受け入れを行っており、その体験授業内にて地球温暖化防止対策の必要性和その為に当社が製造・供給している部品の製造方法を体験して、また当社が直接的な対策活動を行っていることを紹介し、将来でも必要な活動である事を理解してもらう。 ②当社従業員が就業を通じながら地球温暖化防止対策の必要性を理解し、家庭内でもその実施活動が行えるように普及啓発を行う。 ③生産設備等からのエア漏れの監視点検によりエアコンプレッサーの余計な負荷削減対策の実施
